別添

# 解 剖 調 書 （系統・病理・法医）

| 死体番号 | 性 別 | 年 齢 | 指導者の職名及び氏名 | 解剖年月日時 | 解 剖 場 所 | 臨 床 診 断 | 剖 検 診 断 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

（注意）

1 系統・病理・法医の別については該当するものを〇で囲むこと。

2 「死体番号」とは剖検記録等に記載されている番号であること。

3 本調書に記載される全ての解剖例について、申請者自らが頭蓋腔、胸腔及び腹腔を開検し、解剖報告書等を作成していることを要する。

4 必要に応じて、解剖報告書等の提出を求めることがあるため、申請者において解剖報告書の写しを保管しておくこと。

5 頭蓋腔を開検せず、胸腔及び腹腔を開検した解剖例を記載する際は、備考にその旨を記載すること。

6 医師及び歯科医師については直近の５年以内の 20 体に係るものを記入すること。

7 医師又は歯科医師以外の者については年次ごとに別葉とし、直近の５年以内の 50 体に係るものを記入すること。